

パラリンピアンに学ぶ未来のつくりかた



手を振って挨拶する児童(写真は小幡小6年生)

元パラリンピック車いすマラソン代表の花岡伸和さん(日本パラ陸上競技連盟副理事長)を講師としたオンライン授業が2月3・4日、町内小学校で行われました。これは、東京2020大会ホストタウン事業の一環として実施したもので、各校の5・6年生が授業を受けました。

花岡さんは、パラリンピックや車いすマラソンなどを紹介「自分のやりたいことを見つけて、なりたい自分に向かって懲りずに続ければ成功する」と呼び掛け、児童はパラスポーツなどの理解を深めるとともに、未来に向かって進み続けることの大切さを学びました。

詩に思いをのせて 童謡作詩コンクール

子どもたちがリズムにのって歌ったり、親子で楽しく一緒に歌ったりできる詩を募集し、甘楽町ふるさとコンサートを開催しています。今年は、町内小中学生から487点の応募があり、入賞作品14点(入選4点・佳作10点)が決定されました。

入選した作品は、かぶらマンドリンクラブ、さくらコーラス、コールオリーブ、グリーンホーンズオーケストラの4つの音楽団体により作曲されました。

なお、コンサートは新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となりました。

入賞作品はこちらから→



●童謡作詩コンクール入賞者(敬称略)

入選	「インコのいえで」	山田朱璃	小幡小2年
	「ずっとずっとともだち」	桑原歩翔	小幡小5年
	「新学期」	新井陽菜	甘楽中1年
	「家族」	熊井戸結彩	甘楽中3年
佳作	「きせつの思い出」	江川侑里	小幡小2年
	「ふわふわくも」	桑原琉華	小幡小2年
	「もしもコロナがおさまったら」	齊藤せりあ	新屋小1年
	「わたしのすきなスニーカー」	小林 伶	新屋小2年
	「ぼくの町」	黒澤 瞬	新屋小5年
	「まほうの野菜のちから」	井上海翔	甘楽中1年
	「大切な時間」	桑原祐隼	甘楽中1年
	「ご飯」	富岡大駈	甘楽中1年
	「花」	岩井唯花	甘楽中3年
	「お花のちから」	久保花怜	甘楽中3年

さらなる飛躍を誓う 佐野さん

第33回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会群馬県2次選考会が1月15日に渋川市総合公園体育館で開かれ、佐野天音さん(甘楽中2年)が群馬県代表に選ばれました。1次選考会から持ち前のオールラウンドプレーを随所に見せ、3月に三重県で開催される全国大会への出場を決めましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により大会は中止となりました。

佐野さんは「コロナにより大会がなくなってしまい悲しいです。でも全国のために練習してきたことをいかして今後、もっと活躍できるテニスプレーヤーになっていきたいと思います」と話してくれました。



目標に向けて練習に励む佐野さん